

第一回

# 細川氏も愛した湯のまち

～水路と陸路の交差点～

豊前街道顕彰会会長 森久雄氏

熊本の旅の始まり  
豊前街道（県内11里）の旅立ちはこちらから

参勤交代で江戸におもむく薩摩藩は、熊本城内を通過しなければならなかったのです。**両藩の緊張はいかに！**

熊本札の辻  
里程元標（熊本城法華坂入り口「清爽園」）



くまもと県民カレッジ主催講座（後期）熊本学（豊前街道）コース

日時 2019年10月17日（木）14:00～15:40

場所 くまもと県民交流館パレア会議室1

## 豊前街道は、薩摩街道の一部

肥後・熊本（熊本市）を起点として北上し、植木、山鹿から南関を経て筑後・筑前、豊前・小倉に至る道のことを豊前街道といいます。約42里165Kmの道程。参勤交代道として肥後藩や薩摩藩が通行しました。



男性の受講生が多い講座です。



- 熊本城二の丸
- 京町
- 出町
- 一里木（山伏塚近く）
- 御馬下の角小屋 →
- 二里木



みまげ  
**御馬下の角小屋**  
宿場町「山鹿」までの中間地点として、大名の休息所として使用江戸時代後期の建造物商家の部分と御成の間など残存しています。



篤姫様が食べたスイカは、この水深4.2mの井戸で冷やされました。



- 植木（玉名を通り大牟田へ向かう分岐）
- 三里木
- 味取観音
- 四里木（このあたりで国道三号線を離れる）
- 善行寺（鹿央・広町）み

御成の間欄間に九曜紋

- 五里木
- 比丘尼坂
- 山鹿温泉（六里） →
- 七里木（山鹿市立博物館近く）



### 山鹿の町並み

#### 木屋本店



創業180余年の木屋本店。八千代座の天井に広告画も残っています

#### 八千代座

山鹿惣代会所跡に明治43年に建設



- 腹切り坂
- 光行寺
- 八里木
- 平野目鑑橋
- 六本松標本
- 九里木
- 十里木（南関町）



#### 惣門

菊池川を渡り町に入る時に必ず通らなければならなかった門です。明け六つに開門し暮れ六つに閉門

#### 光専寺

楼門は熊本城築城の際の、余った材木で作られました



- 南関御茶屋跡 瓦等に九曜紋
- 十一里木
- 筑肥国境



#### 金剛乗寺石門

温泉が湯枯れした文明5年、住職が薬師堂を建て祈願し復活させました。また山鹿灯笼の起こりもこの寺が由縁です。

#### 薬師堂

さくら湯の敷地内にあります。



#### さくら湯

1640年細川藩の御茶屋として新築

山鹿温泉は細川忠利公のお気に入り 宮本武蔵も招かれた！



#### 龍の湯

殿様のための御前湯の天井画

小倉をめざします

### 旅の途中… 山鹿の宿を日記に記した旅人

古の旅日記を読むことで、旅程や当時の風習や町の賑わいなどを知ることができます。伊能全図九州内陸図と共に

古川古松軒・松井章之・桃文之助・高木善助・山田為正

森先生は、山鹿で街歩きガイドなどもなさっています。街道を歩くイベントは、県内でも色々行われているそうです。

